実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和８年度
助成団体	一般社団法人日本ハンドボールリーグ
事業細目名	下部リーグ開催事業
事業名	2026－27 リーグ H ジュニアカップ
助成金額	51,465,000 円

令和８年度将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成（下部リーグ開催事業）で一般社団法人日本ハンドボールリーグが行っている「2026－27 リーグ H ジュニアカップ」の実施状況について調査を行いました

本事業は、リーグ H 加盟チームのジュニアチームの育成と将来性のある選手の発掘を目的に、東・中・西の 3 ブロックに分け、各ブロックで男女別のリーグ戦と順位決定戦を行うブロックリーグとして３日間の事業として実施されました。令和９年２月には、各ブロックの男女１位チームによる優勝決定戦が実施される予定です。

■助成の意義

リーグ H に所属する各シニアチームは、競技の普及と未来のトップアスリートを育成するためにジュニアチームを設けることがリーグ参加の条件となっているそうです。

各チームにより、受け入れ年齢の下限・上限は異なりますが、リーグ H ジュニアカップの参加チームは小学校 4～６年生が対象ということで、多くの子ども達に気軽に参加してもらい、見に来て欲しいということもあり、助成を受けたことで参加料や観戦料を無くすことで、多くのジュニアチームが参加することができたそうです。受けられなかった場合、参加料の徴収や日程を減らす等を考えなければならず、参加チーム数の減少や競技の普及に影響が出る可能性があったとのことでした。

■事業効果を高めるための取り組み

前述の通り、リーグ H に所属するチームはジュニアチームを設けることを条件としているものの、男女で必要な人数が集まらない等の理由で全てのチームがジュニアカップに参加できている状況ではないそうです。しかし、参加する為の金銭面でのハードルが低く出来ていることもあり、年々参加するチームも増えつつあるとのことでした。また、開催地をホームとするシニアチームの選手に設営等を手伝ってもらい、ジュニアチームと交流する機会も設けられているそうです。憧れの選手とより身近に触れ合える機会を設けることで、今後も競技を継続する目標や意欲の助成につなげていきたいとのことでした。併せて観戦料が無料のため、開催地の地域の子ども達が学校の授業の一環として見学に訪れたことがあり、ハンドボールという競技に興味を持つ子ども達が増えるきっかけ作りになっているとの説明がありました。

■その他

今後参加チーム数が増える可能性があるため、より多くの子ども達が競技に参加できるようにリーグの開催日程や地域区分を増やす等の変更を行うことも検討しているとのことでした。

■所感

当日、会場内は多くのジュニアチーム選手とその応援に駆け付けた同年代の子ども達や保護者等で賑わっていました。また大人とは違うフレッシュな元気さでコートは熱気とやる気に溢れていました。

館内は空調が効いていたとはいえ、外は真夏日だったにもかかわらず、観客席には各ジュニアチームの活躍を多くの人が見守っており、応援用横断幕も設置されていました。

本事業が今後も未来ある子ども達の成長の場となり、ハンドボール競技の更なる普及に貢献することを期待しています。

（令和８年８月 14 日往査）

（写真）リーグＨジュニアカップ東ブロック大会の様子



